

納入事例

株式会社 福島中央テレビ 様

簡単便利に使用できる Shure “UHF-RMW Wireless” が
コスト削減と仕事の効率化に寄与。



▲スタジオ

▼送信機：MW1 と MW2/BETA 87A



◀UHF-RMW 用
ラック

受信機「MW4D」、アンテナ分配器「UA845J」と専用ソフトウェア「Wireless Workbench」を搭載した PC。

◀下部のラックに指向性アンテナ「UA870WB」やアンテナ・プースター「UA830WB」を収納。屋外での使用など可搬システムとしても運用可能。

■ 福島県の情報を発信する地域密着型の放送局

株式会社福島中央テレビ様は福島県を放送対象地域とする放送局で、地域密着型の番組を制作しています。略称は「FCT」ですが、「中テレ」という愛称で親しまれており、日本テレビ系列の中継等でも福島県の話者を全国に発信しています。

■ 多チャンネル運用が簡単便利なワイヤレスシステム

近年の演出の関係でワイヤレスマイクの使用本数が増加傾向にあるうえ、従来使用してきたシステムが劣化してきたため、新たな機材の検討をされていた福島中央テレビ様。新規システムの導入にあたって、多チャンネル運用・コスト・拡張性を重視され、Shure “UHF-RMW Wireless” を採用されました。技術局 放送部 次長の佐藤郁夫様にお話を伺いました。

UHF-RMW Wireless には専用のソフトウェア『Wireless Workbench』が付属しており、空きチャンネルのサーチ機能を使えば、面倒なチャンネル調整がほとんどなく多チャンネルを組めます。中継などフィールドで使用する場合、チャンネルプランが立てやすく便利です。個々の送信機の設定も赤外線で行えるため、スタンバイの時間が短縮しました。また、電波受信状況、駆動電池残量が PC 上で確認できるため、少数のスタッフで運用できます。手間をかけず簡単便利に使用できることが、総じて仕事の効率化につながっています。

実際、～FCT40周年記念イベント FCT 祭り～という大規模中継で同業他社とワイヤレスマイクロホンを使用した時、A 帯、B 帯がすでに使用されている状態でもサーチ機能が活躍して干渉することなくシステム運用できました。旧システムを広い場所で運用すると、場所によって送受信機を別に用意する必要がありましたが、UHF-RMW Wireless の場合、アンテナとプースターの追加だけでまったく問題なく使用でき、性能の良さを実感しました。

UHF-RMW Wireless は最大同時運用 39ch というシステムなので、将来イヤーマニターの運用も見据え、チャンネル数を増やせるという拡張性があることも決め手になりました。(※)

●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3880

HIBINO

hibino Group

▼株式会社 福島中央テレビ

〒963-8533
福島県郡山市池ノ台13番23号
TEL : 024-923-3300
<http://www.fct.co.jp/>

【運用開始時期】

2010年12月

【主要な納入機材】

● UHF-RMW Wireless

機材	ボディーバック型送信機
ブランド名	Shure
製品名	MW1-MA24
機材	ハンドヘルド型送信機
ブランド名	Shure
製品名	MW2/BETA 87A-MA24
機材	ダイバーシティ受信機
ブランド名	Shure
製品名	MW4D+-MABJ
機材	アンテナ分配器
ブランド名	Shure
製品名	UA845J
機材	アクティブ指向性アンテナ
ブランド名	Shure
製品名	UA870WB
機材	アンテナ・プースター
ブランド名	Shure
製品名	UA830WB

(※) 10 波導入していただきました。